

こもれび・komorebi・木もれ日

木もれ日

総合建設
株式会社 日向建設 ひゅうが せつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
http://hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか
TEL 0467 (47) 5454 FAX 0467 (44) 0303

今月の
特集 !!

『甦る家』(第一回)

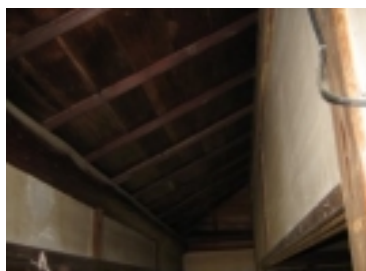
昔ながらの趣のある家、大規模改装工事 ～鎌倉市極楽寺～



昭和初期に建てられた、トコロが喜んで住みそうな鎌倉の自然に囲まれた家。今、日向建設の手により、『ぬくもりを感じる快適な家』に甦ろうとしています。

古い家には、独特の趣があります。家の後ろに山を背負い、玄関の脇に洋間がひと間。廊下を兼ねた縁側があり、丸ゲタ・木小舞天井、漆喰の壁。改装工事は、昔ながらの良さはそのまま残し、快適な住環境で暮らせる家づくりをしています。家づくりは、芸術作品を創るのと似ています。いろいろな業者さんの手により、ひとつの作品(家)が出来上がっていく様子は、本当にすばらしいと思います。

はじめに家の傾きを直します。長年家を支えつづけた柱は、少しづつ傾き、屋根を支える柱の片方が腐って地面から浮いていました。測量をして傾きを慎重に直していく大工さん達。真剣で細かい作業が続きます。柱は、何十年経ってもまだまだ使えます。天井板を剥がすとその柱の上には、地元の松を使った小屋組が出てきました。昔この家をつくった大工さんの腕の確かさを感じさせるものです。地震などの『災害に強い家』、そして『室温のバリアフリーの家』に甦らせるため、確実な耐震補強工事と蓄熱式床暖房工事を施工していきま



木小舞天井



美しい木目の梁



腐って浮いてしまった柱

日向建設の改装工事は、古い家を壊して建て替えるのではなく、昔ながらの美しい小屋組や天井、しっかりした材料の柱など残せる部分は生かして使い、傷んだ部分は新しいものに取り替えていきます。

鎌倉・藤沢あたりには、まだまだ昭和初期の家が沢山残っています。このような家は、少しづつ手入れすることで、100年でも住み続けられる家に甦らせることができるのです。

現在、着々と工事がすすむこの家の工事内容を今後もお伝えしていきたいと思いま

“ひなたぼっこの気持ち良さ”を体験しましょう！！

一年中で一番寒い季節になりました。皆様のお宅でもいろいろな暖房をしていることでしょう。『24時間全室快適暖房の家』を体感してみませんか？日向建設がおすすめする家は、寒くもなく、暑くもない暖かさです。家全体が均一な温度に保たれ、空気を循環させないので温風が肌に当たる不快感がありません。輻射熱の快適さを是非あじわってください。見学会に参加しませんか？

見学会 … 2月19日(土)・20日(日) 参加希望の方はご連絡ください。フリーダイヤル 0120-87-5454

「ちょうどいい温度」で暮らすということ 健康と快適さをもたらす蓄熱式床暖房 鎌倉市寺分 M邸



居心地の良いリビング

蓄熱式床暖房を取り入れたリフォーム工事をした、M様のお宅に伺い感想をお聞きました。一昨年の暮れ、急に暖房機が壊れてしまった為に工事することになりました。お客様が住みながら工事が行なわれたので、第一期工事で居間とキッチンの部分、第二期工事として和室と廊下等を施工しました。

「冬は暖かく、夏になると涼しい」その秘密は・・・

今までの暖房とは、「暖かさが全然違いますよ。」とおっしゃるM様。足の裏からふわりと優しい暖かさが、伝わってきました。床暖房って、『夏はどうなのですか？』と質問されることがありますが、意外にも夏場にも強い事がわかりました。ちょっとビックリする話があるんですよ。

大工さんにとって、夏の現場はとても過酷なもの。ところが、蓄熱式床暖房工事の現場では「他の家よりも涼しかった」と大工さんが言うのです。どうしてかな？と思ったら、実は、蓄熱層コンクリートのおかげでした。地面は通常、約17℃ほどに保たれています。床下に敷くコンクリートは地面と接しているため、地面と同じ温度に保たれ、その結果、40℃近くにもなる家の中の空気の熱を奪って、家を涼しくしてくれた、という訳です。

「蓄熱式床暖房は、毎日『遠赤外線治療』をしているのと同じ？」
最も健康に良い暖房でしょう！

蓄熱式床暖房による熱は体を芯から温めます。また、輻射熱は『遠赤外線』なので、常に遠赤外線治療をしているのと同じ状態で生活することになります。蓄熱式床暖房が健康に良いといわれるのは、こうした点も一つの理由でしょう。温風による暖房ではないので、肌荒れがおきませんし、床から家全体を暖めるため、湿度を一定に保ちます。ですから窓はもちろん、屋根裏も床下も結露しません。押し入や畳などの『カビ』に悩まされることが無くなったというお客様の声をよく聞きます。



蓄熱式床暖房は、植物の成長にとっても好条件です

「光熱費も気になるのですが・・・」

光熱費はどのくらいかかるのですか？
「それほど高くありませんよ(笑)。パネルヒーターを使っている時に比べたらとても安くなりました。受験生2人が遅くまで起きていた時、夜中ずっとつけていると1ヶ月の光熱費(ガス代)は、8万円ほどになっていたんですよ！でも蓄熱式床暖房に変えてからの光熱費(灯油代)は、1万5千円程になりました。そして、この蓄熱式床暖房であたためた熱を使って、給湯もできるんですよ。だからガス代も今までよりずっと安くなりました。そういえば、温度設定の調整がまだ慣れないのです。実は、このところ晴れの日が続いたから、3日間ほどスイッチを切ったままなんですよ(笑)。でも、こんなに暖かいです。冬なのに・・・」

それぞれのお宅によって、どのくらいの温度設定で、何時間くらいで暖まるかはかなり違ってきます。住みながら調節していくといいですよ。
「わかりました。それにしても、もうこの暖かさを体験すると、蓄熱式床暖房以外の暖房は考えられないですよ！」

取材を終え、M様のお宅を後にして30～40分も経っているのに、まだ足元がポカポカと暖かいのには、びっくりしました。

《これからも、お客様に喜んで住んでいただける家づくりをして行きたいと思います》

映画 「ハウルの動く城」



話題の宮崎監督の新作、皆様はもうご覧になりましたか？
物語は、魔法使いのハウルと90歳のお婆さんに変えられてしまった少女ソフィーのラブストーリーです。もうひとつのストーリーは、大魔女サリマンが仕掛けた戦争を、体を張って阻止しようとするハウルの戦い。戦争を体験した宮崎監督ならではのメッセージがそこに込められているような、深いテーマが隠された作品になっています。

■編集後記

寒中お見舞い申し上げます。
地球上のあちらこちらで、大きな災害が発生しています。『昔、災害は忘れた頃にやってくる』といわれましたが忘れどころか、次々に押し寄せて来るという感じですね。
インド洋大津波の被害の大きさには驚かされましたが、津波の原因は地震です。日本の内陸で大きな地震が起きたら？と思うと恐ろしくなります。地震による死亡の80%は、家具等の転倒による圧死だそうなんです。家の中を見直し、危険な家具等の転倒防止対策をしっかりとっておきましょう。また、家をリフォームする時は、耐震補強工事を忘れずに。この二点をきちんとしておけば、地震に対して、一応安心だと思います。